

ご利用案内

【利用の仕方は？】

次の3つがあります。

- 少年自然の家の「主催事業」に申し込み、家族や個人で参加する。
- 団体（子ども会、企業など）で施設利用を申し込み、自然の家で活動する。
- 団体で「出前講座」を申し込み、各活動にスタッフの派遣を要請する。

【利用できる方・団体は？】

- 「主催事業」には、お一人から参加可能です。ただし、対象年齢等を設定する場合があります。
- 次のような団体などが、施設利用及び出前講座を利用できます。
→学校、幼稚園、保育園、子ども会、企業など

【利用を申し込むには？】

- まずは、お電話でお問合せください。申込書類は電話予約完了後に提出していただきます。

【経費は？】

- 18歳以上の方が利用する場合は、県条例に基づく使用料がかかります。
※宿泊利用1泊820円、日帰り利用1回200円
- 無料の活動例……登山、カヌー、化石観察・採取、あきたアドベンチャープログラム（AAP）、追跡ハイキング、マップリーディング等
- 有料の活動例……野外炊飯530円、手打ちうどん260円、防災体験食330円、自然素材工作100円、宿泊用シーツ、ろうそく、マッチ、薪、洗剤等の使用分等

※ 詳細については、ホームページに掲載している利用の手引き「夢のアトリエ」にてご確認ください。

令和7年度 スタッフ

所長	公地 望
【総務チーム】	
副主幹（兼）チームリーダー	小松 正典
主事	茂木 陽大
技能主任	佐藤 清
非常勤職員（栄養士）	伊藤 礼子
非常勤職員（技能補助）	阿部 幸悦
専任当直員	佐藤 悟
専任当直員	菊池 喜美夫

【指導チーム】	
主任社会教育主事（兼）チームリーダー	湯野澤 兄一
主査（兼）社会教育主事	北畠 良晴
社会教育主事補	矢尾 健
社会教育主事補	永澤 純二
非常勤職員（指導補助員）	今野 遥
非常勤職員（体験活動スマイルサポーター）	佐藤 善樹

令和7年度 要覧

秋田県立保呂羽山少年自然の家

（ほろわんぱく）



ほろわんぱくの「スローガン」

確かめ合おう 大切なもの

光と風と緑の中で

〒013-0561 秋田県横手市大森町八沢木字大木屋 73

TEL 0182-26-6011

FAX 0182-26-6012

E-mail horowanpark@pref.akita.lg.jp

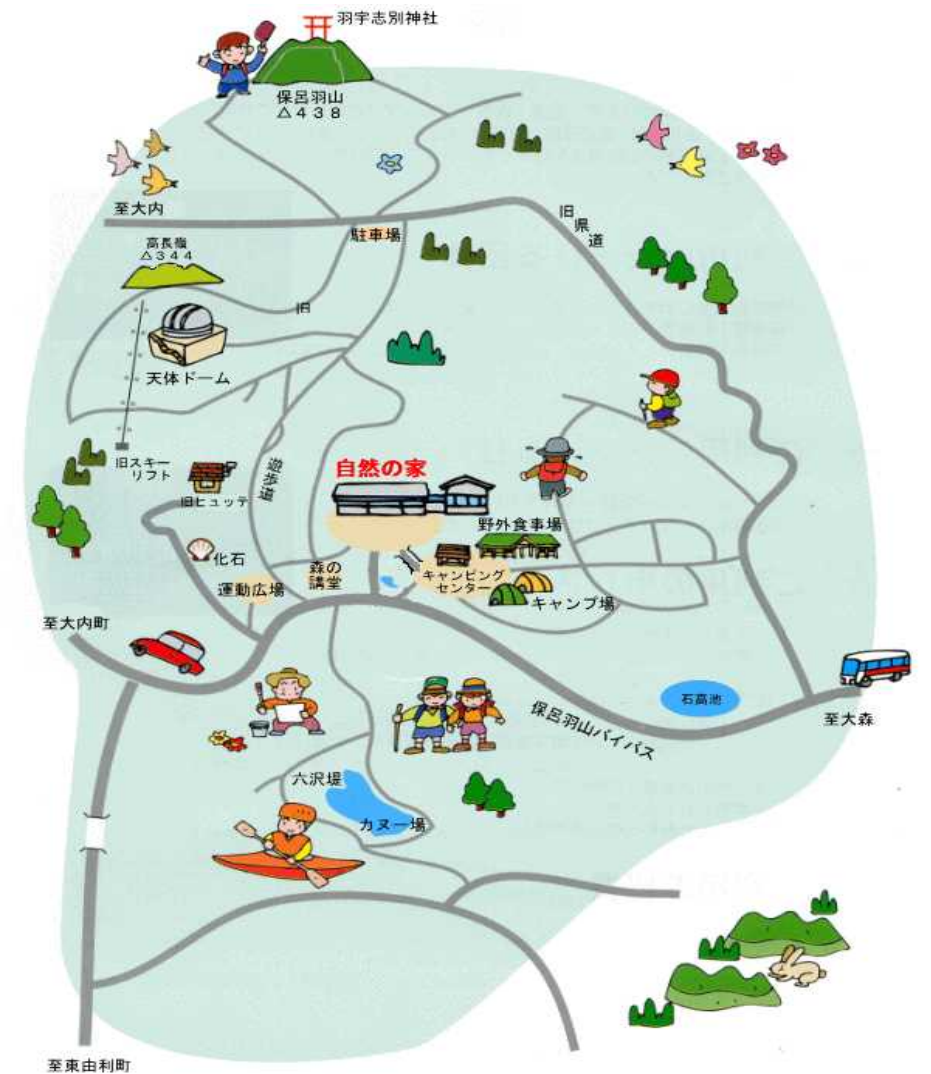


【HP】



【Facebook】

活動マップ



少年自然の家 施設紹介

【館内施設】

- ◆宿泊室17室 ◆バリアフリールーム（1室）
- ◆リーダー室（1室） →宿泊定員200名
- ◆レクリエーションホール ◆研修室 ◆食堂 ◆浴室

【野外施設】

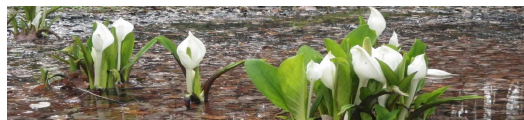
- ◆キャンプ場 →定員200名
テントサイト・炊事場・野外食事場・営火場・トイレ
- ◆カヌー場 ◆陶芸釜

【その他の設備等】

- ◆AAPエレメント ◆キャンプ用具 ◆野外炊事用具



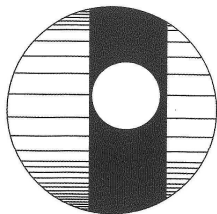
沿革



昭和52年4月1日	秋田県立保呂羽山少年自然の家（仮称）建築着手
昭和53年4月1日	大森町役場に保呂羽山少年自然の家事務所開設
昭和53年7月1日	定礎式並びに開所式挙行・利用団体受け入れ開始（大森町立前田小学校入所第1号）
昭和53年7月14日	秋田県立保呂羽山少年自然の家竣工式挙行
昭和54年7月1日	所章、所歌制定
昭和56年7月14日	利用者10万人達成記念表彰（大雄村立阿気小学校）
昭和63年10月20日	開所10周年記念式典挙行
平成3年12月20日	“希望の橋”完成
平成8年6月15日	保呂羽山少年自然の家の愛称（ほろわんぱく）、マスコット（ほろっとちゃん）決定
平成8年10月31日	“天体ドーム”完成
平成9年7月25日	屋外食事場「スピカ」完成
平成10年10月16日	利用者50万人達成記念表彰（大森町立大森小学校）
平成10年10月22日	開所20周年記念式典挙行
平成12年1月16日	年間利用者3万人を初めて達成（雄物川町立館合小学校）
平成12年10月30日	バリアフリー化（階段昇降機・宿泊室改造等）完成
平成13年6月25日	保呂羽山少年自然の家バス「ほろっと号」配備
平成13年12月21日	バス車庫完成
平成14年7月19日	プロジェクトアドベンチャーエレメント新設
平成16年9月2日	“希望の橋”架替工事完成
平成17年6月21日	利用者70万人達成記念表彰（横手市立朝倉小学校）
平成17年11月25日	営火場改修、テントデッキ13基新設
平成18年1月25日	屋根（管理棟・廊下）改修工事完成
平成18年9月29日	屋根（宿泊棟トップライト）改修工事完成
平成19年12月21日	レクリエーションホール屋根改修
平成20年11月7日	開所30周年記念式典挙行
平成21年12月12日	利用者80万人達成記念表彰
平成28年5月9日	利用者90万人達成記念表彰（男鹿市立男鹿北中学校）
平成29年10月24日	秋田県内青少年教育施設職員研修会開催
平成30年7月30日	平成30年度文部科学省委託「自己肯定感向上プロジェクト」（アドベンチャー・スピリット）
平成30年10月20日	開所40周年記念式典挙行
令和5年6月7日	利用者100万人達成記念表彰（横手市立吉田小学校）

所章・マスコット

所章



保呂羽のかしら文字Hの中心に太陽、太陽のように明るい希望ある家と少年を、半円は保呂羽の羽を両翼にあらわし、野鳥のように自由で進取の気風を。横線は春風のようなさわやかさと、雑草のようなたくましさを象徴する。広がる大自然を円でかこみ、自然と人のとけあう生活空間から野の花のように美しい心情の芽ばえることを願う。

【マスコット】ほろっとちゃん

ほほほの「ほ」（保呂羽の「ホ」）
ほ～ほ～と鳴く「ふくろう」や「コノハズク」の
仲間をモチーフに、自然に親しむ子どもたちを、
かわいらしくイメージしています。



令和7年度の経営方針

【基本方針】

社会及び利用者のニーズを適確に捉え、生涯学習施設として、少年はもとより幼児から高齢者まで幅広い年代層に向けて、周辺の自然環境や施設の特色を生かした自然体験活動や研修を提供するために、安心・安全な環境を整備する（「身体的・心理的安全性」を含む）とともに、研修目的が達成できるように適切な指導・支援を行っていく。

【重点目標】

1. 利用者の身体的、精神的な安心・安全を担保するリスクマネジメントの徹底
2. 幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供
3. ねらいを明確にし、施設の魅力や利用者のニーズに沿った主催事業の企画・運営
4. セカンドスクールの利用に対応するプログラムの一層の整備と支援の充実
5. 地域、民間団体及び関係機関との連携強化

【重点事項】

1. 少年自然の家の設立の趣旨に則った指導・支援の充実
→利用者のニーズの把握
（1）体験活動は人づくりという認識のもとに、育てる意識を大切にした指導の充実
（2）自然、友、非日常との出会いと、感動体験を味わわせる価値ある体験活動の提供
（3）利用団体の主体性を尊重し、研修目的の達成に向けた活動計画作成の指導・支援
（4）県の最重点の教育課題“「問い」を発する子ども”の育成に資する体験活動プログラムの構築
2. 利用者数、幅広い利用者層の拡大
→広報活動、誘客活動の工夫
（1）利用者満足度を高めるための魅力的な体験活動の提供と、人間性及び専門性豊かな所員の支援
（2）メディア、ポスター、チラシ等、多様な広報活動の展開
（3）各主催事業の成果（施設の魅力や自然体験活動の大切さ）を新聞、情報誌等へ発信
（4）主催事業の活動内容の工夫・改善とセカンドスクールのプログラムの充実
3. 危機管理の徹底 ～活動中の事故の未然防止～
（1）施設設備の日常の安全点検及び保全
（2）危険箇所及び危険と予測される箇所の事前対策とその周知（野生鳥獣対策も含む）
（3）利用団体への安全意識の啓発と安全指導（熱中症対策も含む）

令和7年度 ほろわんぱく主催事業

【自然の家・周辺】

No.	事業名	実施予定期日《日程等》	事業内容	対象・人数
1	大人のアウトドア塾Ⅰ	5月24日（土） 《日帰り》	春の保呂羽の自然に触れたり、自然物を採取したりします。	大人及び大人を含む家族・グループ 15名程度
2	アウトドアチャレンジ	7月20日（日） 《日帰り》	夏の保呂羽山周辺で色々な野外活動にチャレンジします。	小学1年～6年生 15名程度
3	チャレンジキャンプ in ほろわ	8月1日（金）～ 8月3日（日） 《2泊3日》	2泊3日の日程で、テント泊や田沢湖でのカヌー活動等にチャレンジします。	小学4年～中学生 15名程度
4	エンジョイカヌーⅠ	8月9日（土） 《Ⅰ：午前に実施》	カヌーの基本操作を習い、カヌー活動を楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ
5	エンジョイカヌーⅡ	8月10日（日） 《Ⅱ：午前に実施》	※多くの方に体験していただくため、ⅠまたはⅡのどちらか1回の参加とします。	各回30名程度
6	エンジョイキャンプ	9月27日（土）～ 9月28日（日） 《1泊2日》	秋の保呂羽の森でのキャンプを楽しみます。	小学1年～3年生 15名程度
7	大人のアウトドア塾Ⅱ	10月4日（土） 《日帰り》	秋の自然に触れたりしながら、ハイキングを楽しみます。	大人及び大人を含む家族・グループ 15名程度

【出前】

No.	事業名	実施予定期日《会場》	事業内容	対象・人数
1	みんな森の芸術家～クリスマス工作～	12月7日（日） 《会場：湯沢市生涯学習センター》 12月14日（日） 《会場：横手市Y Plaza》 12月21日（日） 《会場：大仙市はなび・アム》	保呂羽の森で採取した松ぼっくりなどの自然素材を使ってクリスマス飾りを作ります。	幼児～大人 午前・午後 各40名程度
2	雪ん子体験Ⅰ	1月10日（土） 《会場：天下森スキー場》	かんじきやスノーシューを履いて雪の上を歩いたり、マシュマロ焼きをしたりして秋田の冬を楽しみます。	幼児～大人 人数制限なし
3	雪ん子体験Ⅱ	3月8日（日） 《会場：天下森スキー場》	そり遊びをしたり、エアボードを体験したりして秋田の冬を楽しみます。	幼児～大人

主な体験プログラム

星空の下で活動しよう！

- ☐ キャンプファイヤー
- ☐ テント泊
- ☐ ナイトハイキング
- ☐ 天体観測



水上で風を感じよう！

- ☐ カヌー体験



野山で風を感じよう！

- ☐ 保呂羽山登山
- ☐ 追跡ハイキング
- ☐ マップリーディング
- ☐ ハイキング

みんなで協力して挑戦しよう！

- ☐ あきたアドベンチャープログラム（AAP）



森の芸術家になろう！

- ☐ 自然素材工作
- ☐ 陶芸
- ☐ 竹細工
- ☐ エイフル
- ☐ しおり



不思議探検をしよう！

- ☐ 化石観察・採集
- ☐ 植物観察
- ☐ バードウォッチング
- ☐ 昆虫観察



つくって食べてみよう！

- ☐ 野外炊飯（昼・夜）
- ☐ 手打ちうどん

もしもの時に備えよう！

- ☐ 防災食体験
- ☐ ソロキャンプ
- ☐ 火おこし